

施設カルテ（評価シート）

南河原保育園

施設番号 072

令和 5 .3.31時点

Ⅰ．施設情報・代表建物の情報				
施設基本情報	施設名称	南河原保育園		
	代表所在地(地番又は住所)	南河原851-1	代表建築年度	S53 (1978) 年度
	所管課	子ども未来課	構造・階層	RC・1階建
	大分類(類型)	子育て支援施設	経過年数	44 年
	中分類(機能)	幼稚園・保育園・認定こども園	敷地面積	1,441.00 m ²
	配置形態・管理形態	単独 直営	延床面積	476.29 m ²
	建物所有状況	市所有	土地所有状況	市所有
	借受面積(賃借の場合)	- m ²	借地面積(借地の場合)	- m ²
	避難所指定の有無	なし	駐車可能台数	8 台

Ⅱ．施設性能、財務情報、供給情報分析						※端数処理の関係で合計と内訳、単位あたりの数値が一致しない箇所がある			
■ 施設性能分析(評価大分類)						■ 財務情報(過去3年間平均)			
<p>— 当該施設の数値 — 比較対象(同一分類)の他施設の数値</p>						歳出		当該施設	同一中分類平均
						歳出合計		4,316 千円	7,162 千円
						内訳	人件費	1,285 千円	1,713 千円
							需用費	1,871 千円	2,390 千円
							委託料	776 千円	1,008 千円
							土地・建物賃借料	0 千円	237 千円
							工事請負費	385 千円	1,807 千円
							その他維持管理費	0 千円	6 千円
						指定管理料等		0 千円	0 千円
						延床面積あたり(縦棒)		9,062 円	10,166 円
園児あたり(折線)		86,902 円	103,143 円						
						歳入		当該施設	同一中分類平均
歳入合計		5,646 千円	7,849 千円						
内訳	施設利用	3,309 千円	4,698 千円						
	その他	2,337 千円	3,151 千円						
	補助金等	0 千円	0 千円						
延床面積あたり(縦棒)		11,854 円	11,441 円						
園児あたり(折線)		113,678 円	115,651 円						
■ 供給状況(過去3年間の平均)						【歳出の推移】			
利用実績		当該施設	同一中分類平均						
児童・生徒・園児数		50 人	68 人						
学級数		- 組	- 組						
開館・提供日数		261 日	261 日						
年間延利用者数		- 人	1,062 人						
年間利用・給食件数		- 件	- 件						
資料数		- 点	- 点						
入居戸数		- 戸	- 戸						
園児数(縦棒)		50 人	68 人						
入園率(折線)		92 %	92 %						
【利用状況の推移】						【歳入の推移】			
凡例						凡例			
園児数(縦棒)人		入園率(折線)%		当該施設		延床面積あたり		園児あたり(折線)	

Ⅲ．施設評価結果によるポートフォリオ(機能別評価)		
■ 費用対効果分析【供給グラフ折線×㎡あたり収支(工事請負費除く)による比較】		
【当該施設の評価】 B1		
区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い
凡例: ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象(同一分類)の他施設		
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。		
■ 一次評価【費用対効果分析×施設性能分析による比較】		
【当該施設の評価】 C2		
区分	対応	方向性の考え方
A	継続	現状維持・長寿命化を基本とする
B1	向上	施設性能の向上を検討する
B2	向上	費用対効果の向上を検討する
C1	改善	施設性能の改善を検討する
C2	改善	施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する
C3	改善	費用対効果の改善を検討する
D1	見直し	施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する
D2	見直し	費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する
E	要見直し	施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である
凡例: ■ … 当該施設 ◆ … 比較対象(同一分類)の他施設		
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。		

Ⅳ．機能及び施設の現状と課題

■現状における施設の課題と対応(現状で課題がない場合でも今後10～20年程度を想定して記載)

	機能(サービス)	施設(建物)
課 題	女性就業率の増加に伴い、今後も0,1,2歳児及び配慮が必要な子供の入所希望は増加傾向になると予想される。	築42年以上経過し、老朽化が進んでいる。
対応方針	公立保育園としての役割を果たすため、検討する。	不具合の出ないように、修繕を繰り返しながら現状を維持する。

施設カルテ（調査票）

南河原保育園

令和 5 .3.31時点

I 施設・建物情報

施設基本情報	施設名称	南河原保育園		会計名	普通会計				
	施設番号	072		カルテ番号	069-014080-01-109				
	所在地（地番又は住所）	南河原851-1		所管課	子ども未来課				
	大分類	子育て支援施設		中分類	幼稚園・保育園・認定こども園				
	延床面積施設計	476.29	m ²	敷地面積	1,441.00	m ²			
	建物所有状況	市所有		土地所有状況	市所有				
	うち借受建物面積		m ²	うち借地面積		m ²			
	小学校区	南河原小学校通学区域		中学校区	南河原中学校通学区域				
	管理形態	直営		配置形態	単独				
	指定管理・委託先名								
複合・併設の状況									
避難所指定	なし		駐車可能台数	8 台					
建物基本情報 ※欄が不足する場合には4ページ以降に続きを記載	1	建物名	南河原保育園		主体構造	RC	階数(地上・地下)	1	0
		大規模改修実施年度		延床面積	476.29	m ²	建築年度	1978	年度
		耐震診断・耐震補強	実施済		不要		経過年数	44	年
	2	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	3	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	4	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	5	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	6	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	7	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
	8	建物名			主体構造		階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年
9	建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
	大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
10	建物名			主体構造		階数(地上・地下)			
	大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
	耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	

施設カルテ（調査票）

Ⅲ 供給情報（利用）続き

供給指標	過去3年の平均利用者数	50	人	過去3年の平均学級数	-	組
	過去3年の平均開館日数	261	日	過去3年の平均利用件数	-	件
	過去3年の平均貸出資料数	-	点	過去3年の平均入居戸数	-	戸

Ⅳ 施設性能調査結果

分類		内容	
Ⅰ 施設	建物の外壁	建物の外壁修繕（外壁の塗り替え・張り替え等）は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成19年度以降に修繕を行っていない、又は平成18年度以前に修繕を行っている。 2：平成19年度以降に竣工、又は修繕を実施しているが、目視で確認できる劣化（ヒビ割れ・タイル浮きなど）がある。 3：平成18年度以降に竣工、又は修繕を実施しており、外壁に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	若干、ひび割れや色むら亀裂あり
	建物の屋根・屋上	建物の屋根・屋上の防水工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に工事を行っていない、又は平成4年度以前に工事をしている。 2：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しているが、雨漏りや目視で確認できる劣化（防水層の破損など）がある。 3：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しており屋根・屋上に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		2	
		備考	雨漏りはないが、色むらやスレートが少しはがれている。
	耐震性能	建物は耐震性を有していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が無い。 2：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が有る。又は、耐震改修する必要がない。 3：新耐震基準に基づく建物である。 4：不明 ※耐震基準が不明な場合は、建築年が昭和56年6月1日以降の場合は新耐震基準、それ以前の場合は旧耐震基準とした。
		2	
		備考	平成24年に耐震診断をしており、耐力が大きいことから耐震基準に達している。
Ⅱ 設備	冷暖房	冷暖房設備に支障はありますか。	
		回答	【回答の内容】 1：支障あり（備考欄に支障内容を入力してください） 2：支障はあるが軽微なもの 3：支障なし 4：不明 5：該当なし
		2	
		備考	フロンガス充填機器のため、数年後にはガス自体が製造中止となる。
	給排水	建物の給排水管の更新工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に更新工事を行っていない。 2：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しているが、漏水や赤水、詰まり、水圧不足等が生じている。 3：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しており、問題が無い。 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	
Ⅲ 安全	防災管理	消防用設備等・特殊消防用設備等点検・報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		3	
		備考	
	安全管理	特殊建築物定期点検報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		3	
		備考	H27年1月にアスベストの撤去工事を行った。
Ⅳ 環境	環境保全	太陽光パネルやLED照明等の省エネルギー設備を導入していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未導入 2：検討中 3：導入済 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	
Ⅴ 機能	バリアフリー	バリアフリー（誘導ブロック、手すり、スロープの設置等）への対応ができていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未対応 2：一部対応済 3：対応済 4：不明 5：該当なし（市民利用がなく、対応不要）
		1	※概ね全体の7割程度が対応している場合は「3」、7割未満だが一部対応している場合は「2」を選択している
		備考	

施設カルテ（調査票）

I 施設・建物情報（続き）

建物基本情報 2	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	11 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	12 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	13 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	14 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	15 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	16 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	17 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
18 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
19 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
20 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	

V 施設現況

施設写真

